

## チャタレイ夫人の恋人 (1955)

L' AMANT DE LADY CHATTERLEY  
LADY CHATTERLEY'S LOVER [米]

メディア 映画

ジャンル ドラマ 文芸 エロティック

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 102分

初公開日 1955/12/18

公開情報 NCC=ユニオン

## 【解説】

1982年のS・クリステル主演作が圧倒的に有名だが、D・H・ロレンスの原作の映画化はこれが最初。フランスを代表する名女優D・ダリユーの気品さ漂う秀作。

戦争で下半身不随になったチャタレイ卿は貞淑な妻に後継ぎがほしいと言う。それだけでなく夫の身体の事情を察して何人もの男たちに言い寄られてきた妻コニー。夫との愛情と信頼関係は絶対的だと信じてきた彼女にとって、夫の申し出はショッキングなことであった。“そうであっても我々夫婦の絆は絶対”と言っておきながら、やがて妻コニーが森番として雇われた男と噂になっていく事実チャタレイ卿は混乱する。噂の根元は森番の事実上離婚した妻だったが……。森番男とコニーのやりとりから“愛し合う”ことの尊さが真剣に描かれている。ありがちな不倫の物語、官能的なシーンを主題にした訳ではないところに、原作のロングセラーの所以がうかがえる。本作は特に文学的な要素が大きく、映像は古いけれどモノクロームでしっかりと美しい作品である。

## 【クレジット】

監督	マルク・アレグレ	Marc Allegret
原作	D・H・ロレンス	D.H. Lawrence
脚本	ジョセフ・ケッセル	Joseph Kessel
	マルク・アレグレ	Marc Allegret
撮影	ジョルジュ・ペリナル	Georges Perinal
音楽	ジョセフ・コズマ	Joseph Kosma
出演	レオ・ゲン	Leo Genn
	ダニエル・ダリユー	Danielle Darrieux
	エルノ・クリサ	Erno Crisa
	ベルテ・ティッセン	Berthe Tissen
	ジャニーヌ・クリспан	Janine Crispin
	ジャン・ミュラー	Jean Murat
	ジェラルール・セティ	Gerard Sety